

# 西浦の田楽 絵本で継承

## 子どもが興味持つ契機に

浜松市中区の静岡大情報学部の中歩実さん(23)が17日、同区の静岡大付属浜松小で、継承が危ぶまれている浜松市天竜区水窪町の国指定重要無形民俗文化財「西浦の田楽」を支援しようと制作した絵本の読み聞かせを見学に行った。

田中さんは、昨年1月に劇場で田楽を見たことをきっかけに興味を持ち、好きだった絵本を通じて継承の大切さを子どもにも知ってもらおうと制作した。父親が西浦の田楽で舞を披露する子どもが主人公の絵本で、大人が祭りで体験した不思議な出来事を聞いて回っ



たり、将来自分も舞を行うのようになりたい子どもがう決意をする姿が描かれている。2年生35人は、ゆったりと優しく語る田中さんの声に聞き入りながら絵本を見つめた。

孔世敷君は「お父さん（浜松総局・中井公一）のように行きたい子どもが強く伝わっている」と話し、増田いち花さんは「鈴とかを持って舞うのを見て行ってみたい」と述べた。



静大生の田中さん制作、読み聞かせ 中区

①田中さんが制作した絵本  
②児童の前で絵本を読む田中さん 浜松市中区